

2016年5月2日掲載

歯周病と身体の健康
早期検査と予防 大切

歯を失う原因には、むし歯と歯周病の2つの病気があります。このうち、むし歯については減少傾向にありますが、歯周病については、あまり大きな変化が認められません。歯周病はその名の通り、歯の周りの組織の病気で、歯ぐきや歯を支える骨（歯槽骨）に炎症を引き起こし、放置すると歯のぐらつきが進み、最後には抜けてしまいます。さらに歯周病はお口の中だけでなく、身体全体の健康にも影響を及ぼすことが分かっています。主なものは次の通りです。

①糖尿病…糖尿病は進行するとさまざまな合併症を引き起こしますが、歯周病も合併症の一つと考えられており、糖尿病の人は歯周病になるリスクが高いことが知られています。

②心疾患…歯周病により産生された炎症性物質が血流により心臓にも運ばれることで、心疾患発症リスクが高くなります。

③早期低体重児出産…妊娠中の女性で歯周病の人は、健康なお口の女性に比べて低体重児出産や早産をする確率が高いことが報告されています。

④誤嚥（ごえん）性肺炎…肺や気管の生理的機能が衰えると唾液や食べ物が誤って肺に入り、肺炎を起こします。歯周病で口の中に細菌が豊富に存在する状態だと、誤嚥性肺炎を起こす確率が高くなります。

歯周病は初期段階ではほとんど自覚症状がないので、歯科医院で検査してもらうことが大切です。歯周病を予防することで、身体の健康を保ちましょう。